

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第9期第1回相模原市中央区区民会議		
事務局 (担当課)		中央区役所区政策課 電話042-769-9802 (直通)		
開催日時		令和8年8月19日(水) 10時00分～11時45分		
開催場所		相模原市民会館 3階 第1大会議室		
出席者	委 員	23人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	16人(中央区長、中央区副区長、他14人)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		開 会 1 委員等の紹介 2 議題 (1) 中央区区民会議について (2) 会長、副会長の選出について (3) 第8期までの取組と今後の審議事項について 3 その他 (1) 「相模原市自治会活動の推進に係る条例の制定について 閉 会		

主な内容は次のとおり。(◎会長の発言 ○委員の発言 ●事務局の発言)

開 会

開会から「議題（２）会長、副会長の選出について」まで、中央区副区長が議事を進行した。また、事務局から出席者は２３名であり、会議の成立要件を満たしている旨、報告した。

— 傍聴希望者 なし —

1 委員等の紹介

資料１「第９期 中央区区民会議 委員名簿」により、各委員から自己紹介を行った。

2 議題

(１) 中央区区民会議について

資料２「中央区区民会議について」により、事務局から説明を行った。

(２) 会長、副会長の選出について

相模原市中央区区民会議規則（以下、「区民会議規則」という。）第３条第１項及び第２項の規定により、会長１名、副会長１名を委員の互選により定めることとなっているため、出席委員に意見を求めた。

○（入谷委員）

会長は、学識経験者である飯島委員を推薦する。

副会長については、区民会議５期目で経験も深く、前回も副会長を務めている山口委員を推薦する。

⇒全会一致で、会長に飯島委員、副会長に山口委員が選出された。

区民会議規則第３条第３項の規定により、「議題２（３）第８期までの取組と今後の審議事項について」以降の議事進行を飯島会長に交代した。

(３) 第８期までの取組と今後の審議事項について

資料３「第８期までの取組と今後の審議事項について」により、事務局から説明を行った。

(主な意見等)

◎（会長）次期総合計画については、ロジックモデルを活用したＥＢＰＭを運用し、政策が地域や住民にどのような変化をもたらすかを客観的に可視化できるような仕組みにすると伺っている。他市町村もＥＢＰＭベースの政策へ変化する動きがみられるが、相模原市は一足先に進んで実施しようとしている。中央区が所管する事業は窓口業務などの定例事務が多く、ＥＢＰＭの適合性に課題感もあるが、基地問題など市の施策でありながら中央区にも影響が大きい施策なども多いことから、中央区ならではの視点をしっかり入れながら成果が上がるような計画にする必要がある。

3 その他

(１) 相模原市自治会活動の推進に係る条例の制定について

資料４「相模原市自治会活動の推進に係る条例の制定について」により、市民協働推進課から説明を行った。

(主な意見等)

○（高橋委員）自治会に若い世代が加入しないことや、高齢者の方が自治会を脱会するという状況に非常に危機感を感じている。脱会の理由としては、自治会費の負担感など様々な要因がある。民生委員についても欠員が出ている状況であり、高齢者の方々

に必要な情報が届かないという懸念があるため、情報を継続して届けることができる体制作りをお願いしたい。

- （市民協働推進課）検討委員会の中でも加入促進と併せた取組として、脱会する理由の分析等も進めてほしいという意見がある。条例については、作ることがゴールではなくそこからスタートだと考えている。条例制定後も様々な場面で、皆さまに意見を伺っていきたいと考えている。
- （羽鳥委員）私の地区でも自治会員が減っている状況である。どこの地区も同じだと思うが、効果的な方策がない状況であるため今回の話につながっているのだと思う。「自治会がなくなったらどうなるか」という理解が進めば加入促進や脱会防止にもつながると思うが、実際に自治会が無くなるとどのような影響が生じるか説明してもらいたい。
- （市民協働推進課）自治会が無くなると、高齢者や子どもの見守り、激甚災害が発生した際の対応などに大きな影響が生じ、安全で安心な社会が持続できなくなってしまう。市民の皆様に、自治会の必要性についての理解を進めるために、啓発活動に取り組んでいきたいと考えている。
- （会長）マンションでは管理組合が自治会に近い役割を担っていることから、住民が地域の自治会に入らないという状況にある。ごみ出しの方法だけでも両方でルールが異なるため、話が合わない人同士を一緒にの自治会としてまとめようとする自体が根本的な問題なのではないかを感じる。千代田区の例では、自警を目的としたＯＬの自治会がある。自分たちの問題は自分たちで取り組むという集団を自治会の組織として認めるような仕組が望ましい。相模原市の自治会は固定的であるように感じるため、もっとフレキシブルにその特性に応じた自治会を持つのがいいと思う。
また、自治会活動に対する企業側の理解の問題がある。金沢市では、地域活動は優先して参加を認めるという企業風土がある。ＮＴＴなどの大企業においても、地域活動を奨励しており、相模原市においても、企業に対して自治会活動を優先事項として扱うようにするなど、企業の姿勢を促す条例にしてもらいたい。
- （長谷川委員）私の地区では様々な地域イベントが行われているが、若い世代の方が積極的に手伝っているのを目にする。話を聞いてみると、組織で動いているわけではなく、ＰＴＡやこども会のＯＢ間で声がけをしながら取り組んでおり、組織として拘束されるのは嫌だという声もあった。昨今、フルタイムや共働きの世帯が増えており、自治会として地域活動に参画する余裕がないという声も聞くため、こういった状況なども踏まえつつ、効果的な条例を作ることが重要だと思う。
- （有馬委員）ＰＴＡは学校と保護者と地域が三位一体で関わるのが前提ではあるが、実際に運営すると、地域という視点が抜けていることが多いように感じる。マンションの管理組合はうまく機能していると思うが、子どもの防犯などの観点で危機感を感じている。昨今の例では、子どもが犯罪の被害者側であると同時に加害者側に巻き込まれてしまっており、それをどう防ぐかが課題である。親、学校、そして最後に地域が砦であるため、ＰＴＡの立場としては、地域という視点が抜け落ちることなく、自治会との連携や調和を進めながら取り組むことが重要であると考えます。
- （齋藤委員）私自身の経験として、マンションを購入した際に自治会の案内はなく、マンションに居住してから案内が来なかった。自治会に入るか入らないかを考える以前に自治会に入るという発想につながらないため、自治会に関する周知をすることが重要であると思う。マンションに住んでいる方も、まちの防犯に対する意識や、地域イベントに子どもを参加させたいという親がたくさんいると思う。自治会がこういう取組を維持しているということが伝われば、自治会活動に参加したいと思ってくれる方が増えるのではないかなと思う。
- （星委員）マンション住民に対するＰＲ不足については、検討会議でも意見が出ている。防犯対策や災害時の対応など、マンション内だけでは解決が難しい問題もあるため、こうした視点を踏まえつつ、検討委員会でも議論していきたい。
- （永野委員）資料上に、市の責務として負担軽減という記載があるが、各々の自治会で考える負担軽減と市で考える負担軽減の両側面の立場で検討する必要がある。

- （市民協働推進課）両者それぞれの立場で考える必要があると考えている。今回、資料上における負担軽減の趣旨は、市からの依頼事項が少し多いという意見があるため、過剰にならないように取り組んでいきたいというものである。また、マンションの話についての補足だが、本市ではマンションなどの集合住宅の管理組合に対して、アドバイザーを派遣して、マンション自治会の立ち上げの伴走支援を行う『コミュニティアドバイザー制度』がある。アドバイザーは、3つのなし（会費なし、義務なし（役員にならなくてよい）、回覧板なし（電子回覧））を掲げて南区でマンション自治会を立ち上げた方である。市からの奨励金の中で運営ができるように有志を募りながら、工夫をしながら運営している。また地区連にも加入し地域活動も参加している。新たな視点での取組であるので、こうした好事例などアドバイザーから話を聞きたいということがあればお声かけをいただきたい。
- （大山委員）清新地区では、加入率を減少させないように、お祭りや防災訓練など様々な事業を行っている。自分の自治会の加入率は約56%と高い数値を維持しているが、自治会として何をやっていくかというのを具体的に検討しないと自治会への加入につながらないと思う。この地区に住んでよかったと思ってもらえるような魅力ある取組を進め、地域として個別に頑張ることが、ひいては全体に繋がっていくのではないかなと思う。
- （久野委員）本業である不動産の観点での意見であるが、集合住宅のオーナーに自治会活動に関する理解をしてもらうことが重要であると思う。例えば、集合住宅の建設が始まる前に、自治会などからアプローチをかけてお願いに行くなどの取組が必要ではないかと考える。
- （市民協働推進課）検討委員会の中でも、同様の意見をいただいているので、検討の視点として持ちたいと思う。
- （長谷川委員）過去に不動産の仕事をしていた際には、重要事項説明など全ての手続きが終わった後に、「あなたの集合住宅だとこの自治会になるので、連絡を取ってください」と自治会に関する案内をしていた。こうした取組をはじめ、先ほど意見があったように、建設が始まる前の建築許可の段階からアプローチをするなどの取組が必要ではないかと考える。
- （桑水流委員）私の住む地区では、先に出た防犯や災害時の問題など、自治会に加入しないと生じる問題についてどのように伝えていこうか考えている。加入促進の取組としては、転入者に自治会関連の資料やタオルを持って訪問する取組を行っている。高齢者の脱会防止については、80歳以上の方は役員を免除し、代わりに回覧や身近なコミュニティなどをお願いするなど、負担を軽減しながら繋がりを維持している。こうした知恵を取り入れながら、加入率を下げない努力が必要である。
- （有馬委員）PTAも自治会も同様であるが、特に若い世代は日中仕事で拘束されており、中々地域活動に参加するのは難しいという現実がある。産業振興という観点での意見でもあるが、もし相模原市内の企業などで、働き方を柔軟に調整できたり、地域活動への参加を理解・応援する環境があれば、若い世代も地域活動に参加しやすくなるのではないかなと思う。
- （市民協働推進課）本日は皆様から貴重な意見をいただいた。今後の検討に際して、参考とさせていただきます。

開 会

山口副会長あいさつの後、閉会。

以 上

第9期第1回相模原市中央区区民会議 委員出欠席名簿

No.	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	有 馬 理 仁	相模原市PTA連絡協議会		出席
2	飯 島 泰 裕	学識経験者（青山学院大学）	会 長	出席
3	伊 藤 恵 子	公募委員		出席
4	入 谷 利 郎	小山地区まちづくり会議		出席
5	大 山 孝	清新地区まちづくり会議		出席
6	久 野 新 一	公益社団法人相模原市観光協会		出席
7	桑水流良光	相模原市民生委員児童委員協議会		出席
8	小 林 文 子	公募委員		出席
9	齋 藤 華	特定非営利活動法人and Advance		出席
10	清 水 洋 子	相模原市私立保育園・認定こども園園長会		出席
11	代 田 修	田名地区まちづくり会議		出席
12	鈴 木 泰 信	中央地区まちづくり会議		出席
13	田加井政勇	相模原交通安全協会		出席
14	高 橋 年 廣	相模原市地区社会福祉協議会中央区連絡会		出席
15	瀧 澤 幹 太	公益社団法人相模原青年会議所		欠席
16	永 野 堅 次	上溝地区まちづくり会議		出席
17	中牟田好江	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら		出席
18	中 村 太 郎	相模原商工会議所		欠席
19	長谷川澄男	公募委員		出席
20	羽鳥亜樹子	光が丘地区まちづくり会議		出席
21	原 田 克 也	一般社団法人相模原市医師会		出席
22	星 清 次	相模原市公民館連絡協議会		出席
23	八 木 鉄 雄	星が丘地区まちづくり会議		出席
24	山 口 信 郎	大野北地区まちづくり会議	副会長	出席
25	吉 田 貴 亮	横山地区まちづくり会議		出席